



# Good Life

あなたのそばの  
保険代理店  
グット・ライフ



- 伊勢田 徹
- 関野 俊和
- 西 正明
- 鈴木 和子
- 戸塚 珠恵
- 木内 博子
- 倉品 伸吾
- \* \*
- 佐藤 香

We wish "May be your good Samaritan every night and day."

あなたの身近な問題に答えるのが、私たち **グット・ライフ** の仕事です。 **ぴったりサイズ** の安心をおあつらえ致します

## 冬眠したい。

「未来への贈りもの」という佳什(かじゅつ)が手塚治虫『ブラック・ジャック』にある(第147話)。現代では根治療法のない難病の若い男女が入院先で出会い。恋に落ちる。青年片山の状態はゆるやかに悪化していく。十一年後、重篤の男を看取る妻ありすに医者ブラック・ジャックは差し出したブレゼントは……。治療法が確立した未来への、二人分の人工冬眠、という結末である。コミックだ、お笑いぐさだと首を横に振れない昨今のありさまではないか。テレビジョンのきてれつさにあっけにとられた方は御存命だろうし、そのテレビが生まれたときからあった私の世代でさえ、あのお空のお月様に、ぶくぶくした白い服着た大人が「いま、着陸しました」というのは、まるきりキツネにつままれたようなもの。五つのポクにリアルなのは仮面ライダーであって、人類月面着陸ではなかった。いまでも、どうなんだろう、なにしろポクが現場に居合わせたわけでもないんで、ほんととかどうか、じっさいのところは何んともいえない。いっぽうの仮面ライダーはと言うと、なぜかこんにちまで、毎年秋には新しいのが出現してくるさまに、なんとなく、作りの話しじゃなくかと思いついた。

世界的に権威のある科学雑誌に「ネイチャー」がある。論文は、ラット(実験ネズミ)に冬眠に導入する神経がある。と報告している。名付けて、Q神経。この神経を刺激すると、刺激するとウトウトするというのは妙な感じだが、どうやら体温が四、五度下がるらしい。ブラック・ジャックのブレゼントみたいにはすくはいかないだろうが、救急搬送の際に生理機能を押えて、治療が後手に回るのを抑える可能性をみているらしい。

この世界、ブラック・ジャックとドラえもんを足して、二で割ったような人々が現実を変えそうである。年単位の「冬眠」が可能になれば、ワクチンができるまで、とか、新薬の認可が下りるまで「ちよっくら寝て待つか」というこ時世がくるかも知れない。

私は冬眠したいのだが、ほんねは夏眠したいのだ。体温より気温の高い夏。こう毎年だと、たまらない、体がもたない。だが、夏にコテツと横になる生物はほほいしないそう。じゃあ、代わりに、冬眠させてくれませんか、である。

ポクは、かなうことなら、熊、クマになりたい。クマは冬眠する大型哺乳類。サルの仲間には、哀しいかな、北限のサル、ニホンザルは下北半島で吹雪にさらされつつ目を開いている。顔を真っ赤にして。冬眠できない。その頃クマはというと、めしも食わなげや、くそもしない。なんと寝たまま出産までするそうだ。こはんを食べないな

**グット・ライフ** Tel 0463-37-1955  
goodlife@cosmos.ocn.ne.jp Fax 0463-37-1966



南足柄支店 Tel 0465-72-1701 Fax 0465-72-0090  
御殿場支店 Tel & Fax 0550-70-9888

ら、三か月くらいの便秘はなんとかなるのか。気がかりなのはおしっこ。尿は老廃物の排泄のため。体内に滞留すれば、毒。なぜ、クマは尿毒症にならないのだろうか。からだを凍らすわけではなく、体温を低下させているから。新陳代謝はある。クマには体内で尿を分解する仕組みがあるのだそうである。ん？、ポクにはない。残念、無理なのだ。クマのプーさんになることこの準備は万全。なのに、生理的にムリなのだ。管を挿されて、排尿、か。うーん、やだな。じゃ、とりあえず、凍ってみるか、人工冬眠の時代までいきながらえてみるか。

手塚治虫から、私の学ぶところ。生の条件がある(たとえば、病)。ひとり一人違う。だが、生と人生は別個。じつは、この肉体の縛りが生を充溢とする原基ではないのか。生の豊饒を潜ませている当のなにか(潜勢態)があるのだ。プツダのいう四苦八苦は、架せられた生の苦しみでなく、私たちの生をゆたかとするためのなにかなのだ、と捉え直したい。私はあの世、転生を欲しない。いまを生きたい。ありす&片山の共なる歳月が、ひとつの、まばゆき生。時の操作を欲せずとも、すばらしい生であると思う。やっぱり、クマへの変身はせず、人のままでいようか。

